

# いわき湯本病院

田所 永(看護師/外来)

**功 績** 被推薦者は、感染症委員会委員として、年余に渡って、一度も休むことなく毎週の院内巡視に参加し、毎回現場写真等を含めた詳細・きめ細かな報告書を作成して委員会に提出、感染症防止対策実施を支えた。このひたむきで地道な努力は院内同僚の感染症防止意識の向上にも大変寄与したものと思われ、本年度はインフルエンザ、ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎などの流行期にも院内のアウトブレイクを見ることもなく、当院の医療の質の向上に大いに貢献した功績。

**推 薦 者** 布施 由美 (看護部長)

**推 薦 理 由** 与えられた院内の役割を、黙々と地道に勤め上げ、目的達成のために時間を惜しんで積極的に取り組む姿勢は、目的である感染予防への院内の意識改革にも大きく影響があったものと思われ、忌むべき院内アウトブレイクも回避できた。是非ともこの地道な努力を理事長賞候補として推薦したい。

## 内 容

---

院内感染症委員会のICTラウンドの目的は、週1回メンバー全員が院内を隈なくラウンドし、チェックマニュアルに従って問題点を抽出、改善して行くことで、院内感染のアウトブレイクを未然に防止することである。被推薦者田所は、委員会委員であるが、多くのメンバーが業務の都合上時に参加できない中、メンバーになって以来2年間、1日も欠かさずラウンドに積極的に参加してきた。特筆すべきは、記録係りを引き受け、毎回、問題指摘箇所をカメラで記録して、委員会、各部署への詳細な資料文書を作成し、感染委員長である院長の右腕になって、院内感染症防止意識改革に大変貢献してくれている。

インフルエンザ、感染性胃腸炎などの流行のシーズンには、高齢の入院患者さんが多い病院内でのアウトブレイクは重大な事態になる。従って、職員への感染症防止意識徹底は、最重要の課題である。この点で、毎週の徹底したきめ細かいICTラウンドの実施と詳細な報告書の提示は、院内各部署、職員への感染予防意識向上に大変有効に働いているものと思われる。田所の毎週の連続性あるきめ細かい観察により、わずかな変化、問題点に対する対応も可能で、アウトブレイクの予防効果が大変大きいものと思われた。

これらの蓄積の結果と思われるが、アウトブレイクに大変苦慮した昨年の流行シーズンに比べ、本年度は、資料に基づいた緻密な戦略の策定などの効果で、近隣病院では、アウトブレイクのため病棟閉鎖も実施されている中、当院では無事重大事態を回避することができた。